

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年10月12日（月）～平成27年10月18日（日）【第42週】の感染症発生状況

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.67人と前週（4.45人）からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.82人と前週（2.97人）からやや減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は0.88人と前週（2.12人）から減少しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

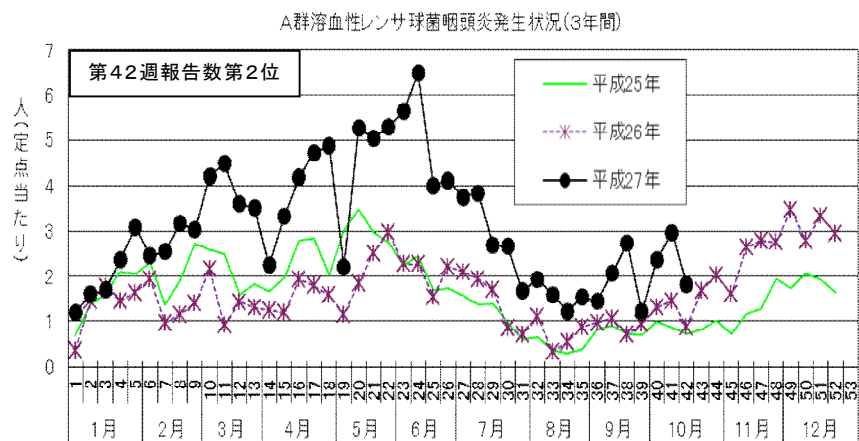
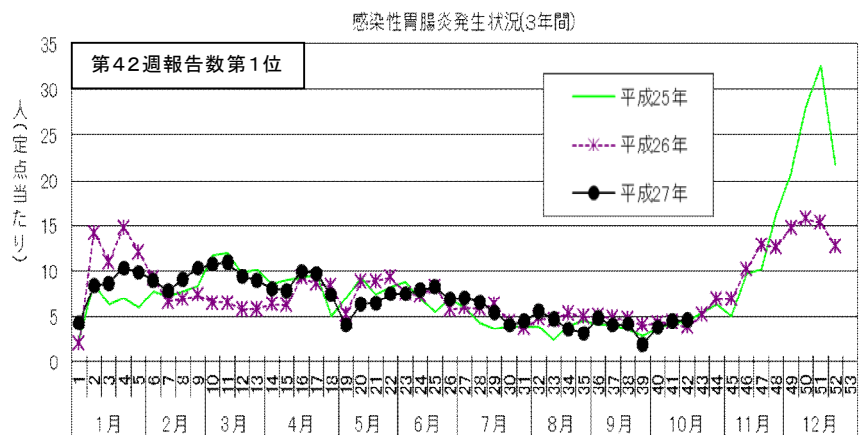
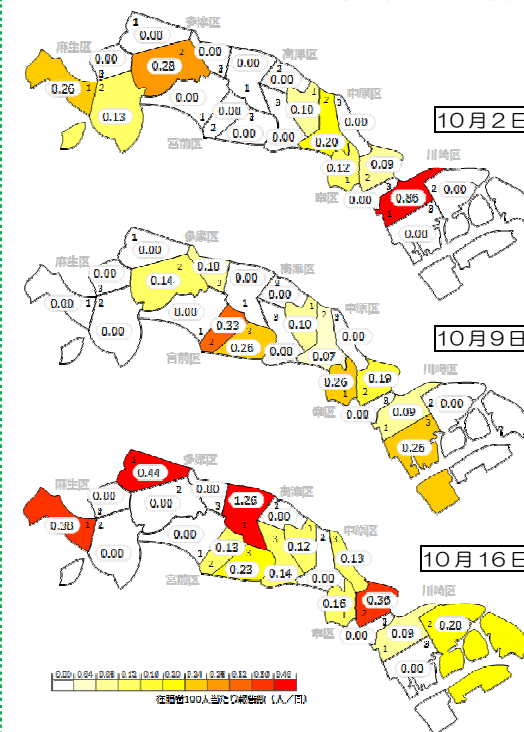


感染性胃腸炎の流行にご注意ください！

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因とする感染症で、嘔気や嘔吐・下痢や腹痛などの症状があらわれます。

学校・保育園等欠席者サーベイランスによると、嘔気や嘔吐がみられる保育園児数は10月以降徐々に増加しています。例年、11月に入ると患者数がさらに増加しますので、冬に向けて早めに予防対策を見直しましょう。

学校・保育園等欠席者サーベイランス情報
【嘔気・嘔吐を認めた保育園児報告数*】
※在籍者100人当たり
(平成27年10月20日15:00時点)



～予防のポイント～

①手洗いの徹底

日頃からこまめに手を洗いましょう。



②便や吐物の適切な処理

患者の便や吐物は適切に処理し、衣類や床などが汚染された場合は消毒しましょう。

③十分な加熱

食品は中心部まで十分加熱（85～90℃で90秒以上）しましょう。

